

農業と福祉で作る地域共生社会 農家と福祉事業所を繋ぐ農福連携システムで新しい未来が実現する



採択事業者名

株式会社アグリトリオ

コンソーシアム構成員

愛媛県農地担い手対策室 | JAグループ愛媛担い手サポートセンター | 日本農福連携協会

目的

愛媛県内の農家を対象とした労働力人材不足を確認し、福祉事業所において農作業の請負型マッチングを推進する。愛知県や静岡県で実績のある農福連携システム「農Care」を用いて農福連携運用の省人化を図ると共に、他地域での農福連携の情報発信をすることで農家や福祉事業所のサステナブルな活動の拡大を目指して行く。

課題

農家の高齢化や担い手不足により、全国的に農作業の現場では人材の確保が困難となっている。また、求人には広告費用が発生したり、繁閑期の差があり雇用のしづらさが農家の課題としてある。反対に福祉事業の現場では、就労の場や作業を確保することが難しく、その解決策として農福連携に取り組む事業所が増えて来ている。



解決策

登録・募集掲載無料の農家と福祉事業所をマッチングさせる弊社の「農Care」のサービスを使い、農家の労働力確保、就労支援の作業支援を実施。求人募集には動画および静止画の作業マニュアルを掲載し、農家の作業指示低減と障害のある方でも作業ができるように事前に確認することができるシステムとなっている。



検証項目	成果・結果
農家・福祉事業所への周知 行政発行誌での発信、チラシ・ポスターWEB広告での啓発	
マッチング実施 農Careシステム導入、静止画・動画マニュアル整備、お試し農福	
課題の抽出 地域特有の課題、リモートでの課題をマッチング後にヒアリング	
システム改修 抽出課題のソリューションをシステム実装、DevOps開発	
取り組み内容	
東温市 ユーカリ農家とB型事業所のマッチング 「農Care」システムによりユーカリ農家の作業場へB型福祉事業所の施設外就労として就労の支援を実施。	東温市 ユーカリ農家とB型事業所のマッチング ユーカリ農家での農作業3.5時間を実施。農福連携の作業については満足する感想をいただき、次回も同じような作業があれば利用したいと考えている。マッチング実施後の福祉事業所のヒアリングからは、施設運営の人的体制や職員のスキルアップなどが課題として挙げられた。農Careを利用する福祉事業所のフォロー体制なども提供していく。
3/7 ノウフク連携セミナーの開催 ウェルビア伊予 愛媛県内外の農福連携事例を紹介	3/7 ノウフク連携セミナーの開催 久万高原町の農家から農福連携に取り組んでいる現状などをヒアリング。伊予市で開催のノウフク連携セミナーに愛媛県での事例としてご登壇していただいた。愛媛県外からは、香川県と愛知県の取り組み事例が紹介された。
久万高原農業指導班や久万高原町役場農業戦略課などを現地訪問	久万高原町の現地訪問 農家の人手不足の現状をヒアリング。愛媛県地域農福連携勉強会(3/23)を開催予定となっている。

今後の見立て・意向

就業人口の減少を食い止めたい農家と、農福連携を通して障害者の就労を促進したい福祉事業所のマッチングがうまくできていない状況が続いており、将来的にもこうした問題は今回の実証地域以外にも広がる傾向にある。どの地域においても農家の人材確保は難しい状況である。現状では、定年後の高齢者などが短時間労働者として農家をお手伝いするといった事が見受けられたが、こうした中に就労支援の福祉的な働き手が入れる機会が作れることは公共の福祉にも寄与する。関係機関では、農家から農福連携の相談があった場合、愛媛県の相談窓口に繋げる事が多く、市町村独自での農福連携という事例はあまり横展開がされていない。「農Care」のシステムにより、他地域での農家の作業案件や作業内容の情報発信がされ人目に付きやすくなると、関係人口の創出にも繋がり農福連携に取り組む農家や福祉事業所は今後も増えて行くものと思われる。

取得データ

農福連携のマッチングをした農家と福祉事業所にアンケートを実施。令和元年の就労継続支援B型事業所における愛媛県の平均工賃は16,517円と、全国の順位では25位であったが、現在においてもあまり変化は見られない。

データ活用による考察・示唆

農家、福祉事業所共にマッチング後のアンケートからは、良好な回答が得られた。こうしたマッチングシステムが上手く”活用できている所”と”知らない所”では、その差が大きいと感じられる。こうした事例が増えて行く事で、マッチングに取り組んだ農家や福祉事業所から横の展開に繋がる可能性はあり得る。